

士清生誕300年関連事業の主な内容

副代表 馬場幸子

1 記念誌

谷川士清の会からの編集係（竹内・馬場・佐野）と津市教育委員会生涯学習課の中村光司氏とで編集計画を練り、これまでの講習会で講師をしてくださった先生の論文・エッセイを中心にして前半とし、後半には今回募集した「谷川士清生誕三百年記念コンクール」の入賞作品を掲載することにしました。

執筆者へは馬場より2007年8月に依頼、2008年9月30日締切で、貴重な原稿をいただきました。

なお、昨年までの入賞作品については、氏名のみ掲載ということにしました。以下、論文・エッセイの執筆依頼先とタイトル内容です。（五十音順・敬称略）

茅原 弘「谷川士清旧宅の解体修理に関して」（元津市役所職員）

杉山陽一「医人としての谷川士清を考える」（三重大学名誉教授・医者）

高倉一紀「士清の立ち位置—集成からの出発」（皇學館大学教授）

西田久光「消えゆく江戸～和訓栞後編出版の風景」（ふるさと新聞顧問）

三澤薫生「『和訓栞』の諸本と使用上の注意」（和洋女子大学教授）

安田文吉「谷川士清と僕」（南山大学教授）

山口 格「『日本書紀通證』における引用出典の確認」（津中央公民館学芸員）

山本真吾「国語学史上の谷川士清」（白百合女子大学教授）

吉田悦之「谷川士清と本居宣長」（本居宣長記念館研究室長）

馬場幸子「谷川士清顕彰の歩み」（会副代表）

前書き・祝辞：野呂三重県知事、挨拶：松田津市長と川瀬代表の予定。刊行は4月以降となる。

2 士清生誕300年記念コンクール

書は日展書家稲垣無得氏に全面的に依頼、絵画は谷岡経津子会顧問（日展会友）と会員で審査。

短歌は高田本山法主の常磐井猷磨氏の選、作文は竹内令氏以下会員5名で審査。小論文は応募者無し。

【書の部】 応募総数 364点

- | | | | |
|-----------|--------------|----------|--------------|
| 1 士清大賞 | 知名采音（南が丘小6年） | 2 三重県知事賞 | 久世悠歌（安東小3年） |
| 3 三重県教育長賞 | 前川和毅（東橋内中3年） | 4 津市長賞 | 田嶋あいか（修成小4年） |
| 5 津市教育長賞 | 前川史奈（東橋内中1年） | | |

特選

山守直美（北立誠3）小田りえこ（新町3）小田真義（新町5）若林啓介（安濃6）小野日花里（南が丘6）岩脇穂波（明合6）藤盛亜美（南が丘4）濱口智行（三重大附4）紀平遼子（セントヨゼフ中2）楠本眞友子（朝陽中3）奥村春奈（南が丘中2）米川淳子（西橋内中3）

入選

伊藤奈美（暁一四日市5）神田悠佑（安濃5）中嶋梨乃（新町3）田端瑞稀（新町4）二葉百香（明合5）岩脇理紗（明合4）中林愛実（明合6）長洞愛優（南が丘4）水元舜（南が丘4）濱口有裕美（南が丘4）門彩未（南が丘4）藤本颯太（雲出4）喜田聖奈（南が丘4）山下栞（藤水5）安藤麻友（南が丘6）大寄彩奈（南が丘6）玉木佑季（南が丘6）宮本菜央（南が丘6）荻山実果（南が丘6）倉屋優加里（南が丘6）藤本若那（雲出6）中谷みなみ（附属中1）久世彩歌（附属中1）坂口友介（附属中3）増本千明（附属中3）大杉あい（附属中3）中山祐里（南が丘中1）大野有貴（南が丘中2）中林夏美（南が丘中2）中保佐和子（西橋内中3）茅野莉瑛（西橋内中3）服部麻友子（西橋内中2）内田卓仁（西橋内中1）

◎書の部講評 稲垣無得さん（元高校教員・日展入選の書家）

皆さんの作品を見て感じたことは、基本的な筆遣いがしっかり出来ていて、力強く伸び伸びと書かれていることでした。優れた作品とは、基本的な筆遣いがよくできていて、元気よくのびのびと書けていること、名前の位置と大きさが課題の文字とうまく合っていて、文字の大きさや配置が適切で一枚の紙にうまくまとまっていること等ですが、何よりも練習量の豊富な作品が見る人の心に感動をあたえてくれます。

士清大賞の知名采音さんの作品は、楷書の基本的な筆遣いがしっかり身につけていて、元気よく伸びのびと書けており、全体のまとめ方も申し分ない秀作。練習量も豊富で作品に意気込みが感じられ、将来が楽しみです。県知事賞の久世悠歌さんの作品は、一筆一筆を最初から最後までていねいに書いていて、作品全体に気迫がこもる力作。名前の位置、大きさも抜群です。県教育長賞の前川和毅さんの作品は、行書の基本がしっかり身につけていて全体的にやわらかく、暖かさを感じさせ、鑑賞者を楽しませてくれる秀作です。